



Continental

業務提携パートナー 行動規範



コンテンツ

| | |
|----------------------|---|
| 持続可能な事業活動 | 1 |
| 法律、規則および法的規制の遵守 | 1 |
| 利益相反 | 2 |
| 適切な労働条件と人権 | 2 |
| 環境および気候の保護 | 2 |
| 安全衛生 | 3 |
| サプライチェーンのデューデリジェンス | 3 |
| 紛争影響地域および高リスク地域からの鉱物 | 3 |
| 技術的コンプライアンス | 4 |
| 営業情報および知的財産 | 4 |
| 事業継続 | 4 |
| ビジネスパートナーによる行動規範の遵守 | 5 |
| 不満および苦情のメカニズム | 5 |



持続可能な事業活動

持続可能性とインテグリティ（誠実性）は、当社の事業と社員一人ひとりの心に据えられています。当社の各事業、製品、サービスはもとより、バリューチェーンに沿ってグローバルな活動全体を通じて、持続可能なモビリティや産業の健全なエコシステムが実現するように、経済のトランスフォーメーションを進めています。

コンチネンタルは、国連グローバル・コンパクトの署名企業として、人権、労働、環境、腐敗防止の各分野に対する 10 原則に取り組んでいます。コンチネンタルは、従業員、お客様、サプライヤー、競合他社、さらにその他の利害関係者に対する事業活動全般に関し、正直さとインテグリティ（誠実性）を約束しています。

コンチネンタルグループ全体で推進している責任あるバリューチェーンに対する取り組みは、**ウェブサイト**に掲載しています。コンチネンタルはビジョンを掲げ次の 4 つの大胆な志の実現に向けて取り組んでいます。

遅くとも 2050 年までに、コンチネンタルのバリューチェーンのパートナーと共にバリューチェーン全体の 100% カーボンニュートラルを目指します。モビリティと産業の 100% エミッションフリーを目指します。サーキュラーエコノミー（循環型経済）100%を目指します。そして、責任あるバリューチェーン100%を目指します。コンチネンタルは、事業活

動やサプライチェーンにおける人権や環境権の尊重に取り組んでいます。これらの志と目標を達成する上で、ビジネスパートナーは、各社の製品、サービス、業務を通じて、バリューチェーン上の悪影響を低減し、当社のすべてのステークホルダーや社会に対する経済的、社会的価値や環境保護上の価値を創造することによって当社を支えています。

持続可能な事業慣行とインテグリティ（誠実性）は、コンチネンタルの企業価値、行動規範、規則や方針、ならびに国連の持続可能な開発目標（SDGs）、国連グローバル・コンパクト、OECD 多国籍企業行動指針、国際労働機関（ILO）の条約および勧告を基盤とした国連「ビジネスと人権に関する指導原則」などの国際的枠組みに根ざしています。

コンチネンタルは、すべてのビジネスパートナーに対し、それぞれのビジネスのあらゆる面で、同じ水準での公平性、誠実性、責任感、持続可能性やインテグリティ（誠実性）を尽くした活動を期待しています。このビジネスパートナー行動規範は、コンチネンタルの価値観に基づいたものであり各ビジネスパートナーに遵守あるいは厳守することを期待する重要な基準を表しています。ビジネスパートナーには、サプライヤー、コンサルタント、ベンダー、仲介業者、請負業者、代理店、経営者等が含まれますが、これらに限定されるわけではありません。



法律、規則および法的規制の遵守

ビジネスパートナーは、事業活動を行っている国で適用されるすべての法律、規則、および規制を遵守し、こうした法律、規則、および規制の遵守を確保するため、適切な措置を講じて、これを維持するようにするものとします。

反トラスト法の遵守

ビジネスパートナーは、適用されるすべての反トラスト法、取引慣行に関する法律に加え、たとえば独占、不正競争、取引制限、競合他社や顧客との関係について定めているその他の競争法、規則、規制を厳格に守るものとします。したがって、ビジネスパートナーは、価格操作や市場の割り当て等を含め、競争に不当な影響を及ぼし得る競合他社との協定の締結、あるいはその他の行為に関与してはなりません。また、ビジネスパートナーは、反トラストに関して適用されるすべての規制、特に、販売店との関係について定めている規制を遵守するものとします。

汚職の撲滅

コンチネンタルは、いかなる形態の汚職も許しません。したがって、ビジネスパートナーは、汚職や贈収賄に関して適用される法律や規制を遵守するものとします。これには、海外での汚職行為も含まれます。ビジネスパートナーは、適用法に違反して意思決定に影響を及ぼす目的で任意の個人または企業に何らかの支払いまたは利益供与を行うことを含め、

いかなる形態の汚職、贈収賄、窃盗、横領、あるいは違法な支払いを許さないものとします。

輸出入規制

ビジネスパートナーは、適用されるすべての輸出入管理法を遵守するものとします。これには、制裁措置、禁輸措置、その他の法律、規制、政府命令のほか、商品、ソフトウェア、技術、サービス、決済の移転または出荷を管理する指針等を含みますが、これらに限定されるものではありません。

マネーロンダリングとテロ資金供与の防止

当社のビジネスパートナーは、マネーロンダリングとテロ資金供与について規定しているすべての適用法および規制を厳格に守るものとします。当社のビジネスパートナーはこうした活動への関与を絶つものとします。

データコンプライアンス

ビジネスパートナーは、データ保護、データセキュリティ、および個人情報以外のデータについて規定しており、国内外で適用されるすべての法令を厳格に守るものとします。データは、透明性をもって責任のある方法で取り扱わなければなりません。

人工知能

当社のビジネスパートナーは、人工知能を開発または使用する場合、責任をもって、公正で、説明可能かつ管理された方法で行うものとします。

加えて、当社のビジネスパートナーは、AIを使用する場合、国内外で適用されるすべての法令を遵守し、倫理基準を尊重することを保証するものとします。



利益相反

当社の従業員は、会社の利益を最善化するために行動することが期待されています。業務上の決定が、私的利益や個人的な対価によって左右されてはなりません。コンチネンタルおよびビジネスパートナーは、従業員のビジネスパートナー

との個人的利害とコンチネンタルでの業務上の利害が相反するような活動もしくは状況を回避します。ビジネスパートナーは、利益相反となるような状況に気づいた場合、このことについて直ちにコンチネンタルに通知するものとします。



適切な労働条件と人権

ビジネスパートナーは、世界人権宣言やILOによる基準に規定されているように、国際的に認められている人権を尊重し、健全で公正な労働条件をグローバルに提供するものとします。このため、ビジネスパートナーはすべての個人を敬意をもって公正に処遇し、国内外で適用される規制を遵守するものとします。これには、現地の法律に従うことのほか、次の各項が含まれますが、これらに限定されるものではありません：

- ▶ あらゆる形態の現代の奴隷制、人身売買、非倫理的な採用慣行を含む強制労働の禁止、
- ▶ 児童労働の禁止、
- ▶ 報復、暴力またはハラスメントのない包摂的かつ協力的な環境の維持、
- ▶ 国籍、民族、性別、障害、年齢、性的アイデンティティや性的指向、宗教や信条、社会的地位、あるいは人種の動機による差別等を含め、あらゆる形態の差別の拒否、

- ▶ 当該国の法定最低賃金と同等以上の、透明で公正な報酬と手当の提供、
- ▶ 合理的な労働時間と十分な休憩時間、
- ▶ 結社の自由と団体交渉に関する権利の尊重、
- ▶ 安全で衛生的な労働環境の構築、
- ▶ ビジネスパートナーが利用または契約するすべてのセキュリティ要員が実施する責任あるセキュリティ、
- ▶ 加えて、特にその地域の人々が不安のない生活を確保するために以下の対応が必要な場合、地域社会、先住民や各個人の土地利用権、慣習上の権利および関連する権利の承認と尊重。

コンチネンタルでは、国連の女性のエンパワーメント原則を支援しており、ビジネスパートナーがそれぞれ自社の業務やサプライチェーンでも同じように国連の女性のエンパワーメント原則を正式に支援するよう強く奨励しています。



環境および気候の保護

ビジネスパートナーは、その事業を体系的な経営手法に基づいて安全かつ責任ある手法で運営し、環境を保護するとともに、当社の規則だけでなく国内外で適用される規制を遵守するものとします。

ビジネスパートナーは、エネルギー、水、原材料、消耗品といった資源の消費を削減することによって、持続可能な方法で資源を利用するものとします。さらに、ビジネスパートナ

ーは、適切な環境保護管理手順を導入、維持するものとします。これには、気候保護、大気環境、責任ある化学物質管理、土壌の保護、水資源の保護、生物多様性、廃棄物処理、騒音防止、森林破壊の防止等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。有害廃棄物の国境を越える移動およびその処分の規制に関するバーゼル条約の各要件に従わなければなりません。



安全衛生

ビジネスパートナーは、安全かつ責任ある方法で事業を運営するものとします。

これにより、ビジネスパートナーは、コンチネンタルに対して安全な製品を製造、納入するとともに、事故を防止し、ビジネスパートナーの従業員や請負業者に対する健康上のリスクへの曝露を最小化する安全で健康的かつ人間工学的な

作業環境の提供に真剣に取り組むものとします。この目標を達成するため、緊急事態管理、火災予防、化学物質の責任ある管理等を含め、継続的な改善に向けた安全衛生上の管理システムを実施しなければなりません。水銀に関する水俣条約、残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約、ILO労働安全衛生条約155号が定める要件に従わなければなりません。



サプライチェーンのデューデリジェンス

ビジネスパートナーは、国連のビジネスと人権に関する指導原則、OECDの多国籍企業行動指針、これらの各ガイドラインに基づく適切な苦情処理メカニズムと報告を含め、サプライチェーンにおける人権や環境に悪影響が及ぶリスクを特定するとともに、これを防止、軽減するために、デューデリジェンスプロセスを実施するものとします。

ビジネスパートナーは、サプライチェーンのデューデリジェンスに関して適用されるすべての法律を遵守するものとします。



紛争影響地域および高リスク地域からの鉱物

サプライチェーン全体のデューデリジェンスの一環として、ビジネスパートナーは、すべての鉱物について、サプライチェーン全体にわたるデューデリジェンスとトレーサビリティを支援することが期待されています。ビジネスパートナーは、紛争地域および高リスク地域からの鉱物に関して適用される法的要件について認識するとともに、紛争地域および高リスク地域からの鉱物に対する責任あるサプライチェーンのためのOECDデューデリジェンスガイダンスに沿って、かかる法律を確実に遵守しなければなりません。したがって、ビジネスパートナーは

- コンチネンタルに販売した製品に重要な鉱物や素材が含まれていないかどうか判断するため、サプライチェーンに関するデューデリジェンスを実施するものとします。

- また、ビジネスパートナー自身のサプライヤーからの正確かつ正直な情報に基づいて、「責任ある鉱物調達」(RMI)が定めている紛争鉱物報告テンプレート(CMRT)およびコバルト報告テンプレート(CRT)／「拡張鉱物報告テンプレート」(EMRT)などの関連報告テンプレートの最新版に記入して、CMRT、CRT、EMRTなどの最新情報を提供し、さらにこれに適合しない精錬所、制裁を受けている精錬所、高リスクの精錬所をそれぞれのサプライチェーンから排除する準備をするものとします。



技術的コンプライアンス

コンチネンタル製品に含まれる素材または構成要素を納入している、あるいはコンチネンタル製品の製造に使用される商品またはサービスを提供しているビジネスパートナーは、次のような有効で拘束力のある製品要件に沿った製品(システム、ハードウェア、ソフトウェアを含む)およびサービスを開発、製造、供給するものとします。

- ▶ 製品の安全性、製品の特性の一つとして、製品に消費者にとって受け入れがたいリスクがないこと。
- ▶ 製品適合性、製品に関連する技術的な遵守義務に関する要件を満たしていること。定義済の技術的コンプライアンスのカテゴリーでいずれのカテゴリーに割り当てることができるか明確ではないが、技術的コンプライアンス義務を果たすために必要なすべての要件を対象としています。技術的に適合しているためには、製品の実際の特性が、文書化された特性と一致していなければなりません。これには、特に、型式認定、認証手続き、および広告が含まれます。
- ▶ 製品の環境コンプライアンスには、製品の環境フットプリント(たとえば、排出、消費、資源効率)が含まれます。さらに、素材や循環型経済も製品の環境コンプライアンスの側面となります。技術的に適合するためには、製品寿命全体において、製品が環境に及ぼす影響の側面からの評価や製品が環境に影響を与える可能性の最小化を保証する必要があります。
- ▶ 製品のサイバーセキュリティとプライバシーとは、製品やその機能に対して、不正な操作がないこと(完全性)、不正な阻害がないこと(可用性)、そして不正なアクセスがないこと(機密性)です。製品のプライバシーには、個人を特定できる情報(PII)の保護と認めることができる

必要な技術的な措置が講じられていることが含まれません。技術的に適合するためには、製品寿命全体を通じてサイバーセキュリティとデータ保護が考慮されていなければならない、かつ基盤となる管理システムが保証されている必要があります。

- ▶ 知的財産: 技術的に適合するためには、第三者の知的財産が尊重され、合法的に使用されていなければなりません。これには、たとえば、サプライチェーンを通じてあらゆる模倣部品(盗用品)の使用を積極的に禁止することや、少なくとも、それぞれの業界で慣習となっている注意を払って第三者の知的財産権の調査を実施し、法的に評価し、文書化することによって、製品が第三者の知的財産権を侵害していないことを保証することができます。

コンチネンタルから課された技術的コンプライアンス要件だけでなく、法的な技術的規制、適用となる外部の基準や規範に対する遵守は、製品の戦略プロセスとともに始まり製品が寿命を迎えるまで、製品のライフサイクル全体を通じて保証される必要があります。

ビジネスパートナーは、適切な体制とプロセスを制定し、提供することにより、自社の従業員が上記の技術的コンプライアンスに従って行動できるようにします。ビジネスパートナーは、それぞれの技術的コンプライアンスにおいて、包括的な技術的コンプライアンスに関連するプロセスや必要な透明性に関し、必要に応じて、コンチネンタルに全面的に協力するものとします。

技術的コンプライアンスに対する侵害の可能性がある場合は、直ちにコンチネンタルに書面で通知しなければなりません。



営業情報および知的財産

コンチネンタルとの事業活動により取得した機密性の高い営業情報や企業秘密(以下、「営業情報」という)の機密性を保持し、第三者に対して不適切に使用せず、これを開示しないことを保証するのは、ビジネスパートナーの責任となります。

ビジネスパートナーは、あらゆる営業情報はその重要性に基づいて適切に収集、処理され、安全が確保され、かつ保存されていることを保証するものとします。

さらに、ビジネスパートナーは、コンチネンタルが登録した、あるいは登録していない知的財産を尊重し、(まだ第三者に開示されていない場合)これを機密情報として保護し、安全を確保するとともに、そのそれぞれの使用が適用法に基づき許容される場合を除き、コンチネンタルが明示的に同意した目的以外のいかなる目的でもこれを使用してはなりません。ビジネスパートナーは、盗用品やコンチネンタル向けに製造したものではないその他の製品のために、および同関連製品に対してコンチネンタルの知的財産を使用してはなりません。



事業継続

ビジネスパートナーは、事業継続とサプライチェーンに関し、リスクの特定と評価を行う包括的な活動を絶えず実施するものとします。

特定したリスクについては、コンチネンタルの事業を支える業務の中断や混乱を最小化するために、バックアップや継続計画だけでなく緩和措置を定期的の実施し、これを検査するものとします。



ビジネスパートナーによる行動規範の遵守

コンチネンタルは、このビジネスパートナー行動規範の規定を尊重しており、当社はこれを適宜修正することがありますが、同規定はコンチネンタルとビジネスパートナーとの間の業務関係にとって必須です。したがって、本書の同規定に対する遵守は、ビジネスパートナーが承認し同意したコンチネンタルとビジネスパートナーとの業務関係に必要なものです。

ビジネスパートナーが、このビジネスパートナーに関する規範について重大な違反を犯した場合、コンチネンタルは、適用される法律に従って、当該のビジネスパートナーとの業務関係を終了する権利を留保しています。

ビジネスパートナーは、たとえば自己評価アンケートや正式なコンプライアンス証明書などの関連するイニシアチブに積極的に参加することにより、法的に必要かつ、リスクエクスポージャーに基づいた、その他のデューデリジェンスプロセスをコンチネンタルが実施する際に、これを支援するものとします。コンチネンタルは、適切な方法により、ビジネスパートナーの行動規範に対する当該ビジネスパートナーのコンプライアンスに関連した監査について、これを実施また

は要求する権利を留保しています。(過去の) 第三者による監査を同等なもののみならず場合があります。監査は、ビジネスパートナーと相互に合意した業務時間に予定され、ビジネスパートナーが準備を行い、適切なレベルの文書を提供し、ビジネスパートナーの規範に従って明確かつ透明性のある方法で立証を行うものとします。

適切である場合には、ビジネスパートナーは、コンチネンタルが提案する初期または追加の研修に参加して、法律、規則、法的規制に対する当該ビジネスパートナーのコンプライアンスを確認するようにします。

ビジネスパートナーは、そのサプライヤー、下請業者、およびその他のビジネスパートナーのビジネス慣行に精通し、かかるサプライヤー、下請業者、ビジネスパートナーすべてに、このビジネスパートナー行動規範または本書に定められた価値観の遵守を求めるために、最善の努力を払うものとします。ビジネスパートナーおよびコンチネンタルは、このビジネスパートナー行動規範に関連する疑義について、信頼と敬意をもって話し合うものとします。



不満および苦情のメカニズム

ビジネスパートナーおよび利害関係者ならびに一般の権利保持者のほか、そのそれぞれの従業員は、コンチネンタルのインテグリティ (誠実性) ホットラインに本ビジネスパートナー行動規範に対する違反を報告することが奨励されています。

連絡先と手続きの規則は、コンチネンタルのウェブサイト www.continental.com/hotline で確認できます

ビジネスパートナーは、申し立てられた違反の調査を支援するものとします。加えて、ビジネスパートナーは、それぞれ自社のデューデリジェンスの取り組みに沿って、不満/苦情メカニズムを整え、それぞれの部門または国に固有の司法によらないメカニズムを支援するものとします。

我々は、上記のビジネスパートナー行動規範に規定したビジネス規範の価値観を共有、尊重、かつ遵守し、これを適用することをここに確認した。

Continental Aktiengesellschaft
Continental-Plaza 1, D-30175 Hannover
www.continental-corporation.com

すべての子会社に適用